

平成 21 年度 社団法人関東ニュービジネス協議会 委員会・研究部会 事業計画

「委員会の性質」について

①企画型

NBCで開催するイベントの企画・運営を主体とした委員会です。もちろん、イベントにも参加できます。企画・運営を通して、会員相互の交流を深めると共に自己研鑽を行うことが可能です。

②勉強型

活動を通じて勉強して頂くことを主体とした委員会です。座学だけではなく、外部研修や企業訪問、講演会など様々な内容で行われています。

③併用型

開催内容によって適宜勉強型、企画型で活動する委員会です。



【企業経営部門】

委員会	企業革新委員会
委員長	加藤 雄一（㈱アドバネクス 代表取締役会長兼社長）
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 社会的に存在価値のある会社、すなわち他社には出来ないこと、やってないことを提供するユニークな取り組みができるよう、経営者に学び、意見交換、体験の共有などの場を提供する。一方、規模の大小を問わず、一流の経営者としての品格を身につけ、社会貢献度が高く、魅力的な企業（ナイスカンパニー）の創造に「失敗してもいいからやってみよう！」精神で積極的に取り組む経営者を育てる。	
2. 活動内容 （1）経営者の波乱万丈体験談&体験訪問 経営者が実際に体験した様々な局面での考え方や施策を伺い、また、実際に関係施設を訪問しながら、自らの疑似体験として習得する。 （2）読書会 対象書籍「7つの習慣～成功には原則があった～」スティーブン・R・コヴィー著 ビジネスのみならず個人、人生、家庭あらゆるものに共通する「原点」について学び、激しい変化に対応して自らも変化できるようにする。 オプション：BRT（ビジネスラウンドテーブル）＝参加希望者のみで自主運営する少数制分科会 メンバーのプレゼンテーションを通じて、自分自身の疑似体験として、より具体的に今起きているケースから学ぶハーバードのケーススタディーのような価値を得る。	
3. スケジュール（予定） （1）波乱万丈体験談（年4回） （2）読書会（年7回） （3）体験訪問（年2回） 他にオリエンテーション（4月）、総括会（委員表彰式）を2月に開催予定です。 また、BRTは各チームが任意にスケジュールを決めながら開催致します。	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 こもだ たかこ（㈱エス・エス・ジー 代表取締役社長） 山家 一繁（㈱ワイエムジーワン 代表取締役社長）	

【企業経営部門】

委員会 委員長	IPO委員会 庄司 正英（ピーアークホールディングス(株) 代表取締役社長）
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 昨年に続いて、株式公開(IPO)に関心の高い経営者を対象に、公開実現の支援となる活動を行うことを目的とする。	
2. 活動内容 (1) IPOセミナー 公開志向企業にとって、その時々最もニーズが高いと思われるテーマを選定し、外部専門家や公開実現企業を招聘してセミナー形式で開催する。 ●特別講演 ⇒ ベンチャースピリッツを応援いただけるゲストの講演。 ●上場企業体験談 ⇒ 公開実現のケース・スタディを上場経験者から学ぶ。 ●市場研究 ⇒ 市場関係者による最近の株式市場の動向や、外部専門家（証券会社・ベンチャーキャピタル）などの投資家視点による市場研究。 (2) スモール・ミーティング ●実務社勉強会 ⇒ 公開窓口となる証券会社、企業側の実務担当者の勉強会。 ●サクセス・ミーティング⇒IPOを実現した上場企業の社長をお招きしての交流会など、和やかな雰囲気での『語らいの場』を提供いたします。	
3. スケジュール（予定） (1) IPOセミナー（年2月回程度、夏期セミナー、冬期セミナー） (2) スモール・ミーティング（詳細については調整中）	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 上島 規男（株イントランス 代表取締役社長） 委員会運営協力 事務局 ピーアークホールディングス(株) 東京都足立区竹の塚 6-8-15 TEL03-3858-8888 担当 経営企画 加藤雅也	

【企業経営部門】

委員会	資金調達・M&A委員会
委員長	広瀬 洋一（㈱アサヒ商会オフィスエクスプレス 代表取締役）
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 上場を視野に入れ、事業拡大を目指す企業経営者が投融資を受ける機会を提供する。また、事業継承問題、今後の成長戦略等の中小企業が抱える経営課題の解決を支援する目的でM&A支援の事業化を推進する。	
2. 活動内容 (1) 資金調達を希望される企業と投融資家との「出会いの場」 ベンチャー・ミーティング・ピアツツア（VMP）の企画・運営 (2) M&A支援活動 ※いずれも公開プレゼンテーション形式にて行い、将来的には入札方式も検討する。	
3. スケジュール（予定） VMP : 年間8回の開催（4・5・6・7・9・10・11・1月） M&A : 申し込みの都度開催	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 資金調達（VMP）：松浦 幸作（エイテック㈱ 会長） M&A : 橋本 佳子（㈱ダブリュファイブスタッフサービス 代表取締役社長）	

【企業経営部門】

委員会	IT 委員会
委員長	星野 晃一郎 (株)ダנקソフト 代表取締役社長)
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 ニュービジネス協議会会員の経営革新を活動の基本目的と踏まえ、参加会員にメリットとなる様よりビジネスに踏み込んだIT活用事例研究を推進する。業界事例研究、新規ビジネスの発案など検討する。	
2. 活動内容 <ul style="list-style-type: none">・NBC事務局のIT活用状況を通年に渡りフォローし、更なる効率化を図ることで、同等規模の会員企業に対して「良いお手本」を提供する。・IT活用事例、最新のIT技術を紹介する。・他委員会と連携を図りながら、参加者が実際に体感できるイベントを企画・実施する。・戦後最大の不況を乗り越えるためにムダ、無理、ムラを減らし 新しいサービスを考え、利益を生み出すIT活用術を研究する。	
3. スケジュール (予定) 隔月程度の委員会開催。最新技術動向の調査、報告ならびにIT装備の問題点の調査。 IT関連のショーを委員会で見学。その他会員向けITセミナーの開催など。	
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 めでじま えいじ ((有)シーエス・サービス代表取締役)	

【事業創出部門】

委員会	ベンチャー創出委員会
委員長	田中 豊 (アートグリーン(株) 代表取締役社長)
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 (1) 主として社会人を対象に、創業を支援し、新事業や雇用の創出に貢献する。 (2) 後進の育成に寄与するだけでなく、支援活動や委員相互の情報交換・交流を通じて、自らのアントレプレナー精神を再認識し、自社の経営、ベンチャー創出にも役立つ。	
2. 活動内容 (1) 関東経済産業局との共同事業「起業家予備軍コミュニティ」を2期目として継続実施 起業家予備軍に対して、委員はメンター的な立場で参加し、実践的なアドバイスをする。 具体的には、 ① 起業体験談及び質疑応答、ディスカッション ② 起業志望者による事業プラン発表、アドバイスを、プレストを交えながら行う。 起業家予備軍＝起業を志す者で、募集時に何らかの事業アイデアと質問事項を持っている者(補足)・社会人を主として、退職者や主婦や学生も除外はしない。 ・過去コミュニティ参加者と学生に限り、創業済みの者も含む。 (2) 先輩経営者講演会の実施 先輩経営者から、経済や政治動向について学ぶ機会を設ける。	
3. スケジュール (予定) ※GW明け頃より、新規参加者募集開始。	
第1回 7月平日夜	参加者自己紹介(予備軍、NBC会員双方) オリエンテーション
第2回 8月土曜午後 (時間長めで)	起業体験談 アイデアまたはプラン発表、アドバイス or グループディスカッション
第3回 9月平日夜	起業体験談 アイデアまたはプラン発表、アドバイス、全体ディスカッション
第4回 10～12月平日夜	起業体験談 アイデアまたはプラン発表、アドバイス 全体现況報告・ディスカッション (第1～3回以降のアフターフォロー的に)
第5回 12月～2月平日夜	起業体験談 アイデアまたはプラン発表、アドバイス 全体现況報告・ディスカッション (第4回以降のさらにアフターフォロー的に)
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 大平 雄伸 (株)OMG 代表取締役) 奥寺 邦俊 (オーエフピー(有) 代表取締役) 永瀬 俊彦 (事業創造キャピタル(株) 専務取締役) 勝 猛人 (勝司法書士法人 代表社員) 櫻澤 仁 (文京学院大学 経営学部 教授)	

【事業創出部門】

委員会	雇用支援委員会
委員長	与謝野 肇（与謝野アントレプレナーアシストオフィス 代表）
委員会の性質	併用型
1. 活動目的 大学の連携につき、拡大・深耕を図り、大学・若者に対して会員企業の認知・理解を高める。 個別会員企業の採用を支援する。	
2. 活動内容 (1) さまざまな段階(時期)・角度からニュービジネス・ベンチャーと、学生・若手社会人との接点の場を提供し、 会員企業の認知・理解を促進すると共に、起業家精神・スキルを持つ人材を育成する。 ①連携大学の拡大・深耕 ・社長講座の実施…ニュービジネス・ベンチャー企業経営者の出前講義 ・企業見学、就業体験(短期インターン、中長期インターン)の受け入れ 現状の事例を他大学にも波及させることに努める。 法人同士の提携にこだわらず、熱心な教授とのコネクションを作ることに注力する。 ②ベンチャー型人材育成の共同研究(文京学院大学) ③NBC 事業として一般公募による寺子屋かいぎ(100名規模) 他委員会との共催も視野に入れながら、寺子屋かいぎ以外にも経営者と学生との交流会を検討 (2) 若手人材獲得を希望するベンチャー・中小企業に対して、有益となる情報を提供し、採用を支援する。	
3. スケジュール(予定) (1) 連携大学との共同実施プログラム 例：文京学院大学 ・NBC 冠講座の実施 前期(4~9月)・後期(10~3月)それぞれ講師2~5名 ・年1回11月頃 社長講座の実施 ・インターンシップの受け入れ (夏頃短期2~3週間・7~8社、春及び秋頃長期3か月・1~2社) (2) NBC 独自事業 ①11月 一般公募による寺子屋かいぎの実施 ②NBC 会員企業向けの採用に関する勉強会 年1~2回、情報提供 随時	
4. 運営組織(副委員長等) 副委員長 こもだたかこ (株)エス・エス・ジー 代表取締役社長	
ベンチャー・中小企業にとって、優秀な若手人材を獲得するチャンスでもあります！ 新卒採用に積極的な会員企業の方は、ぜひ採用活動の一環として、当委員会にご登録いただき、共に活動致しまし ょう。 また「ベンチャーの啓蒙」や「起業家教育」にご関心のある方もご登録もお待ちしております。	

【事業創出部門】

委員会	企業内新規事業委員会
委員長	吉井 信隆 (インターウォーズ(株) 代表取締役社長)
委員会の性質	併用型
1. 活動目的 企業のゴーイングコンサーンに向け、企業内起業は新たな生き残りを賭けた、成長エンジンとなってきた。グローバル・デジタル社会において、この企業内起業により、雇用の維持拡大を目指している企業の実態に迫る。	
2. 活動内容 (1) ①企業内アントレプレナーもしくは企業内アントレプレナーを支援されている方で講師として適当な方。 例えば、マイクロソフト(株)の代表取締役社長 樋口泰行氏 他、ネット系の企業内起業家 ②実務に明るく、概略を説明できる方。 以上の方に講演して頂いた後、質疑応答及びプレストを行い、理解を深めるプログラムや、交流会を併設したプログラムで行う。 目的によって 50~60 名や 20~30 名と、規模を選択する。 (2) 講演場所を実際のその企業や、ユニークな場所で行うことで、机上論でない「体感」や「認識」を得る手段を取り入れていきたい。 (3) 他委員会との共催、合同企画を積極的に行う。 例えば、定例会委員会との合同で、「定例会」で、企業内起業に積極的且つ、確かな実績のある著名経営者を講師として招聘するベンチャー創出委員会との合同で、「起業家予備軍コミュニティ」において、企業発起業を志す者を支援する、等。	
3. スケジュール (予定) 年3回~4回程度開催予定	
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 新浪 剛史 (株)ローソン 代表取締役社長 副委員長 倉橋 泰 (株)ぱど 代表取締役社長 副委員長 大塚 雅樹 (株)ジェイティビーモチベーションズ 代表取締役社長 ※ほか、企画・運営及び委員会勉強会参加メンバー募集	

【会員交流部門】

委員会	イベント交流委員会
委員長	今井 千晶 (株)フタバファー 代表取締役社長)
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 <ul style="list-style-type: none">・会員が（誰でも）気軽に参加でき、情報交換、交流、親睦を図る為の場をつくり、相互研鑽とヒューマンネットワーク構築を支援する。・参加者が満足する合宿・イベントの運営「ハートに響く空間創り」のスローガンを掲げ、「楽しく」、「実質的」な合宿・イベントの企画運営を目指す。	
2. 活動内容 <ul style="list-style-type: none">(1) NBC 合宿の企画・運営1泊2日の合宿。参加者自身が最高に楽しみ、そして、お互いの信頼関係を築くきっかけとなる合宿。また、自己研鑽の場となるような内容を企画する。(2) クリスマス会をはじめとしたイベントの企画・運営クリスマス会をはじめとした、会議室を飛び出しての交流会の企画・運営	
3. スケジュール（予定） <ul style="list-style-type: none">(1) NBC 合宿2009年6月13日～14日（土日） （会場） ホテル・ワイナリー・ヒル（修善寺）(2) クリスマスパティー2008年12月17日（木） 予定 会場未定	
4. 運営組織（副委員長等） <ul style="list-style-type: none">副委員長 高橋 憲行 (株)企画塾 代表取締役)副委員長 三ツ谷 佐代子 (株)ビーコムコーポレーション代表取締役社長)副委員長 黒部 得善 (株)リーガル・リテラシー 代表取締役)	

【会員交流部門】

委員会 委員長	定例会委員会 山尾 百合子 (株)メイン 代表取締役)
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 「楽しくなければNBCではない!!」のスローガンのもと、著名講師が語るテーマ内容を学びつつ、チャレンジする経営者、IPOを目指す企業家、また企業内新規事業担当者や経営支援企業等、参加者各位の出会いやビジネスチャンスの拡大など、有意義な会員交流の場を提供する。	
2. 活動内容 定例会の企画、運営を行う。委員会では、開催に際し運営会議や、講師の選定、講師との事前打合せを適宜行い、定例会の司会や当日の運営も、委員会とNBC事務局で連携して実施する。 「定例会」の内容は、凡そ以下の通り（状況に応じ組合せあり） (1) セミナー（講演会） ※講演、対談、パネルディスカッション NBC会員内外問わず、各界の著名人（経済界、政官界、学会等）また、会員ニーズにあった方を講師として、またはパネラーとしてお招きし、直々にお話を伺うことで、経営者として、刺激やヒントが体得できる学習の場を提供する。 (2) 他委員会、研究部会とのジョイント企画実施 他の各委員会とタイムリーに連携することにより、シナジー効果の高い企画内容を実施する。 (3) 懇親会 会員交流、親睦を目的とし、立食パーティーで開催。新入会員の紹介の場を設ける。 (4) 関東圏NBCとの交流 関東圏1都10県のNBC会員相互の交流を図るため、他のNBC宛に定例会を案内する。	
3. スケジュール（予定） 理事会後の開催を原則基本とし、会場はANAインターコンチネンタルホテルを使用する。 4月15日（水）5月11日（月）、7月15日（水）、9月16日（水）、10月14日（水）、 11月18日（水）、2月17日（水）予定	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 井上 雅博（株）アドヴォネクスト 代表取締役社長） 金子 篤史（株）エックスグラビティ 取締役副社長） 中島 セイジ（株）クオーターバック 代表取締役社長） 端山 浩幸（株）ワース・テクノロジー 代表取締役）	

【会員交流部門】

委員会	新入会員委員会
委員長	正能 淳 （㈱情報デザイン研究所 代表取締役）
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 新入会員のNBC活動へのスムーズな誘導と、その定着を主目的とし、活動する。	
2. 活動内容 (1) 新入会員企業の活動参画のフォローアップ新入会員企業が、初期段階で支障なく協議会活動に参加できるよう、定例会での新入会員紹介をはじめ、他委員会や他部門との連携により、新入会員がNBCに魅力を感じ、活動に参画し、定着するまで他委員会とも協力し、つつがなく誘導する。 (2) 新入会員ウェルカムパーティー会長、副会長、各委員長がホストを務め、新入会員およびその推薦者をゲストとしたNBC活動参画へのガイダンス的役割を持つウェルカムパーティーを行う。従来の秋開催を変更し、年度末を予定、その年度に入会した方全員を招待する。	
3. スケジュール（予定） 定例会全7回 NBCを楽しく活用する会全5回 （ホスト：各副会長） ※正副会長会議終了後 第1回 4月28日（火）18時～ ※対象：前年度2、4月入会者 第2回 7月1日（水）18時～ ※対象：5月入会者 第3回 9月2日（水）18時～ ※対象：7月入会者 第4回 11月4日（水）18時～ ※対象：9月入会者 第5回 2月3日（水）18時～ ※対象：11、1月入会者 他、ウェルカムパーティー年1回（3月24日（水）18時～）	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 志太 勤一（シダックスフードサービス㈱ 代表取締役） 副委員長 山田 直大（㈱東京アート印刷所 代表取締役） 副委員長 上杉 真道（㈱アンパス 代表取締役）	

【会員交流部門】

委員会	自然体験型交流委員会
委員長	志太 勤一（シダックスフードサービス(株) 代表取締役）
委員会の性質	併用型
1. 活動目的 忙しい日常を離れ、自然を体感する中で、会員の相互交流を深耕する為の企画を立案・実施する。別称NBC探検隊。	
2. 活動内容 1泊2日程度の少人数の合宿の実施。企画・運営も自分たちで行い、準備段階・実行段階を含め、会員相互の交流の場とする。活動場所は、自然を体験できるような場所。	
3. スケジュール（予定） 秋、9月末頃に1回の宿泊企画（ワイン用ぶどう収穫体験）を開催予定。 研究部会や、他委員会とのジョイント企画も検討	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 上杉 真道 （株アンパス 代表取締役） 副委員長 正能 淳 （情報デザイン研究所 代表取締役）	

【政策提言部門】

委員会	政策委員会
委員長	湯川 智子 (株)ドゥ・クリエーション 代表取締役)
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 行政全般についての勉強会を開催し、ビジネスチャンスとなるテーマの研究を通じて、ニュービジネス発展に貢献する。また、政策通の政治家や行政の担当者を講師に招き、テーマ別の勉強会を開催すると共に、交流会を通じて相互の懇親を図る。	
2. 活動内容 (1) 具体的な「旬」のテーマを採り上げ、講師を招いての懇談会や勉強会を実施し、成果を広く会員に告知する。 (2) 制度改正や行政政策等についての情報提供や解説を行う。 (3) 特に今年度は、時事のテーマでもある「税制・雇用」の領域にも言及し、適宜、関東圏NBCまで活動を拡大しつつ、「NBCからの提言」として纏める。 (4) その提言を通じて、行政との関係構築を図る。	
3. スケジュール (予定) 政治家や行政担当者を招いての懇談会を、2～3回開催する。合わせて、小規模な勉強会も適宜開催を計画する。	
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 棚橋 賢一 (株)ソフトネット 代表取締役社長) 副委員長 八鍬 昭 (株)エッサム 代表取締役社長) 副委員長 吉房 滋 (株)ゼウス・エンタープライズ 代表取締役社長)	

【政策提言部門】

委員会 委員長	女性委員会 平井 由紀子 (株セルフウイング 代表取締役社長)
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 NBC 会員の女性経営者の全員参加はもちろん、男性経営者にも多数参加していただき、会員交流を深めると共に、多様な働き方、起業、社内起業について考える。	
2. 活動内容 ダイバーシティに注目し、「働き続けやすい企業、社会とは」についての具体的なテーマを採り上げ、多様な働き方、起業、社内起業の仕方について考える。	
3. スケジュール (予定) 4月 勉強会 NBC 会議室 働き続けやすい企業、社会とは 6月 勉強会 社内における新規事業、社内企業とは (身近にできる起業、雇用創出とは) 9月 勉強会 身近にできる雇用創出、起業とは 11月 4月から9月までの勉強会をまとめ、具体的はプログラムをつくる 2月から3月 プログラムを実際に試行し、検証する	
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 高橋 ゆき (株ベアーズ 専務取締役)	

【政策提言部門】

委員会	IPO大賞委員会
委員長	井川 幸広 (株)クリーク・アンド・リバー社 代表取締役社長)
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 創設後、第4回目を迎える「IPO大賞」として、株式上場1年目の「ルーキー部門」と、株式上場後4年経過の「グロース部門」、両部門の更なる浸透・定着を意図とする。 この大賞の意義である「株式上場により日本経済を活性化させたり牽引している企業を顕彰すること」を世間に広報すると共に、「表彰式」を華やかに開催し、認知度向上を図る。	
2. 活動内容 (1) 表彰企業の選考 (本年度は) ①ルーキー部門 — 08年10月～09年9月迄にIPOを実施した企業が対象 ②グロース部門 — 04年10月～05年9月迄にIPOを実施した企業が対象 <グロース部門の条件> ・直近決算時売上高 100 億円以上 ・IPO実施時と直近決算時売上対比 200%以上 (2) 委員会 ①「審査委員会」 — 外部有識者3名を加え、述べ16名の審査員により選考選出する。 ②「表彰式委員会」 — 大賞企業を、世間に広報しつつ、過去の受賞企業を含めた華やかな交流の場としての演出を企画する。	
3. スケジュール (予定) (1) 表彰式委員会 4～5月に、本年度の企画内容を検討する 以降、随時委員会を開催し、企画内容を具体化する。 (2) 審査委員会 4～5月に、本年度の大賞内容を確認・検討する。 10月 一次審査委員会を開催する。 11月～12月 二次審査・最終審査委員会を開催する。 3月 第4回IPO大賞表彰式開催 (予定)	
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 吉房 滋 (株)ゼウス・エンタープライズ 代表取締役社長) 同 井田 正幸 (株)ブレイク・フォールド社 代表取締役)	

【政策提言部門】

委員会 委員長	ファンドビジネス委員会 上島 規男 (㈱イントランス 代表取締役社長)
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 (1) 様々なスキームのファンドビジネス [①ベンチャーキャピタル ②M&Aファンド ③企業再生ファンド ④不動産ファンド 等] を検証し、ベンチャー企業がファンドを活用することでビジネスチャンスを広げることが可能なスキームがどのようなものか?またベンチャー企業が利用できるファンドはどのような種類のものか?をそれぞれの業界の専門家を講師として共に学習する。 (2) NBC エンジェルファンドにも関与し、自らの学習の場としても活用する。	
2. 活動内容 様々なファンドビジネスを展開する専門家を1名~2名講師に招き、講演形式や座談会形式、又実際の活用現場や仕事現場に赴き、成功事例や新たなスキームを学習し、これまであまり身近ではなかったベンチャー企業との接点を検証する。	
3. スケジュール (予定) 2ヶ月に1回程度を予定。	
4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 庄司 正英 (ピーアークホールディングス㈱ 代表取締役社長) 副委員長 安永 雄彦 ((株)島本パートナーズ 代表取締役社長)	

【外務広報部門】

委員会 委員長	広報委員会 坂田 生子（松下運輸(株) 代表取締役社長）
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 関東ニュービジネス協議会のPR 認知拡大に努める。 NBC に対して好意的な注目度・関心度を高め、NBC の活動に常に期待をもって話題、ニュースとして取り上げてもらうようにしていくこと。 NBC の各委員会と連携を保ち、活発な活動を分かり易く、楽しく内外に発信していくことで会員はもとより、企業経営者・学生に至るまでの幅広い層に NBC の活動の拡大認知に努める。また、新入会員獲得を推進する活動の側面支援も行う。	
2. 活動内容 各委員会との連携を委員長や事務局を通じ、委員会活動の情報を早い段階から提供して頂き、内外への広報機会を逃さぬようにする。 ホームページの充実を力をつけたい。また、ブリテン等のあらゆる媒体を活用し、NBC の認知拡大・PR の為の戦略を立てる。 また、毎月メールマガジン【1分で分るNBC】を発行し、多くの会員に情報提供を行う。	
3. スケジュール（予定） 広報活動の必要に応じ、随時招集。	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 奥寺 邦俊（オーエフピー(有) 代表取締役） 山田 直大（株東京アート印刷所 代表取締役）	

【外務広報部門】

委員会 委員長	国際委員会 深沢 栄治 (株)光彩工芸 代表取締役社長)
委員会の性質	勉強型
1. 活動目的 人口減少が続き、既存市場が縮小していく日本の企業にとって、事業の「国際化」は最重要テーマのひとつとなってきました。特に「現地で自社コンテンツを販売をする」「現地で資金を調達する」「現地コミュニティへの同化」この3点については、これから多くの日本人経営者がチャレンジしていくべきテーマとなるでしょう。国際委員会は、この3テーマを軸に、他の委員会・研究部会とのコラボレーションを通じてより多くの会員に、自らの「国際化」を目指して頂くことをテーマとします。	
2. 活動内容 ■訪問地域候補として、「ベトナム」「ドバイ」「ロシア」「ニューヨーク」などを候補地とする。 ■訪問地域について、有力なテーマを絞り、国内で事前学習を実施し、現地にて交流会や講演会を実施する。 ■テーマに関連する各委員会・研究部会との共同開催（国内および訪問先にて）を実施し、できるだけ多くの会員企業にご参加いただく。	
3. スケジュール（予定） ・5月 学習会1 ・6月 学習会2 ・9～11月 現地視察 ・1月 フォローアップ学習会	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 林 すた～らいと（東明総研株）取締役 東京本校 副学院長 副委員長 久保田 明史（ビービーエス・ラボ株）代表取締役社長)	

【外務広報部門】

委員会	朝食会委員会
委員長	大塚 雅樹 (株)ジェイティービーモチベーションズ 代表取締役社長)
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 知恵のインプットとリフレッシュを目的に、多忙な経営者の朝の時間を有効活用して、NBC会員相互のコミュニケーションを高める。新旧の会員が同じ目線でコミュニケーションが取れるように、ゲストスピーカーも入会の新旧を問わず、依頼する。 テーマはなるべくタイムリーなものとしながら、軸としては「経営の品質を高めていく」ためのヒントを得られるように工夫する。	
2. 活動内容 (1) 活動時間 AM7時半～9時 (2) 運営 ①朝食を取りながら開催(多忙な方が多いので朝の時間帯を有効活用する) ②定員締め切り制(最大22名:講師含まず) ③参加費:各回4,500円(会場受付にて徴収)	
3. スケジュール(予定) 第1回 2009年04月16日(木) 第2回 2009年05月13日(水) 第3回 2009年07月16日(木) 第4回 2009年09月17日(木) 第5回 2009年10月15日(木) 第6回 2009年11月19日(木) 第7回 2010年02月18日(木)	
会場はいずれもANAインターコンチネンタルホテル東京(港区赤坂)	
4. 運営組織(副委員長等) 副委員長 黒部 得善(株)リーガル・リテラシー 代表取締役)	

【地域連携部門】

委員会 委員長	ビジネスマッチング委員会 木地本 朋奈 (㈱トリリオン 代表取締役社長)
委員会の性質	企画型
1. 活動目的 会員企業の自社PRを兼ねるが、主に、会員相互のビジネスに直結させ、win win の関係を構築することを意図とする。また、その成功事例が、新入会員が入会する際の動機付けのひとつになれば、より有意義な活動といえる。更に、将来、JNB が主催しNBC が主管として企画運営する可能性もある「全国ビジネスマッチング in 東京（仮称）」に向けた、ノウハウを学び蓄積する。	
2. 活動内容 (1) 月に1回を目処に、「ビジネスマッチング会」を開催する。但し、開催時間方法については委員会にてまとめる。 (2) 基本はNBC 会員企業にプレゼンを募集するが、年に数回は、関東圏NBC の会員にもプレゼン企業の募集を行い、会員の相互交流を促進する。 (3) 国際委員会との共催によるグローバルなビジネスチャンスの拡大など、他の委員会とも積極的な共催を行い、シナジー効果を狙う。 (4) 成功事例があれば、適宜会員宛に発表を行い、ビジネスマッチングの意識付け強化を狙う。	
3. スケジュール（予定） 4月 - 委員会打ち合わせ、運営方法の確認を行う。 5月 - この月を第1回として、2月までに、6回程度の開催を企画する。 ～2月まで	
4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 岩下 一智 (㈱ピー・ティ・ランド 代表取締役社長)	

【地域連携部門】

委員会	東京都委員会												
委員長	山家 一繁 (株)ワイエムジーワン 代表取締役社長)												
委員会の性質	企画型												
1. 活動目的 <p>地方自治体の頂点である東京都庁とNBCが、win winの協力・協調関係を構築できるような仕組みを作ることを目指す。合わせて、この仕組みづくりのプロセスが、自治体と協力関係を良好にするプロトコルととらえ、各地区のNBCが行政との連携活動を行なう際の一助となることも目指す。</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">・自治体との良好な関係づくりの模範プロセスの構築 <p><最終目標></p> <ul style="list-style-type: none">・まずは良好な関係を構築することで、関東NBCのみならず、地域NBCが東京の情報を望む場合の窓口となり、ビジネスチャンスを模索する際の支援を行なう。													
2. 活動内容 <p>NBC各委員会・部会の活動と、東京都の諸施策との共通点を模索・マッチングするための勉強会を開催し、各地域NBCとの協調連携を目指す。</p> <p>更に、NBCとして参加できる商工施策など、まずは実績づくりの一歩とする。</p>													
3. スケジュール (予定) <p><具体的な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none">4月～5月 都との相互ミーティング開催6月以降 適時、勉強会開催する。 <p>また、都の共催など、NBCにとって有意義な企画について研究する。</p>													
4. 運営組織 (副委員長等) <table><tr><td>副委員長</td><td>高田容治</td><td>(株)ナバ 代表取締役社長)</td></tr><tr><td>同</td><td>山田直太</td><td>(株)東京アート印刷 代表取締役社長)</td></tr><tr><td>同</td><td>西村剛敏</td><td>(明成建設工業(株) 代表取締役社長)</td></tr><tr><td>同</td><td>正能 淳</td><td>(株)情報デザイン研究所 代表取締役社長)</td></tr></table>		副委員長	高田容治	(株)ナバ 代表取締役社長)	同	山田直太	(株)東京アート印刷 代表取締役社長)	同	西村剛敏	(明成建設工業(株) 代表取締役社長)	同	正能 淳	(株)情報デザイン研究所 代表取締役社長)
副委員長	高田容治	(株)ナバ 代表取締役社長)											
同	山田直太	(株)東京アート印刷 代表取締役社長)											
同	西村剛敏	(明成建設工業(株) 代表取締役社長)											
同	正能 淳	(株)情報デザイン研究所 代表取締役社長)											

【地域連携部門】

委員会 委員長	地域委員会 吉田 邦正 (㈱イースト・インターナショナル 代表取締役社長)												
委員会の性質	企画型												
1. 活動目的 <p>地域委員会は、「JNBの組織強化策」の一環とした関東圏内1都10県に各地域・県NBCを創設する目標が、過去3年間の活動で一応の完遂を遂げました。特にNBCが当番であった昨年度の関東圏NBC会員交流会には、170名余の全地域の会員が参集し、素晴らしい成果を上げることが出来ました。</p> <p>本年度は、「100年に一度の経済不況」を自覚し、「躍動感溢れる挑戦と自立」のスローガンの下、その地域のエネルギーと協調しながら、ピンチをチャンスに変えるバイタリティと行動力で、関東圏NBCとは勿論のこと、志を同じくする他の外部団体等とも連携強化を図りつつ、会員相互の交流をより積極的に推進し、ニュービジネスの風土作りに貢献します。</p>													
2. 活動内容 <ul style="list-style-type: none">(1) 「関東圏NBC会員交流会 in いばらき」の開催に協力する。(2) 県単位NBC（群馬・埼玉・山梨・神奈川・千葉）との会員相互交流を推進する。(3) 既設県単位NBCを含めた、「関東圏NBC」の会員交流会を企画・開催する。(4) 日本ベンチャー学会との協力関係を推進する。(5) 適宜、相互の委員会活動に参加して、会員相互の交流を促進する。													
3. スケジュール（予定） <ul style="list-style-type: none">(1) 定例会委員会が開催する年7回の「定例会」を、関東圏NBC会員に案内する(2) 「関東圏NBC会員交流会 in いばらき」（9月中旬予定）開催に協力する。(3) 日本ベンチャー学会全国会員大会（11月中旬予定）の開催に協力する。													
4. 運営組織（副委員長等） <table><tr><td>副委員長</td><td>佐藤 義孝</td><td>（NTTインテリジェント企画開発㈱ 代表取締役社長）</td></tr><tr><td>同</td><td>正能 淳</td><td>（㈱情報デザイン研究所 代表取締役社長）</td></tr><tr><td>同</td><td>田子 みどり</td><td>（㈱コスモピア 代表取締役社長）</td></tr><tr><td>同</td><td>こもだ たかこ</td><td>（㈱エス・エス・ジー 代表取締役社長）</td></tr></table>		副委員長	佐藤 義孝	（NTTインテリジェント企画開発㈱ 代表取締役社長）	同	正能 淳	（㈱情報デザイン研究所 代表取締役社長）	同	田子 みどり	（㈱コスモピア 代表取締役社長）	同	こもだ たかこ	（㈱エス・エス・ジー 代表取締役社長）
副委員長	佐藤 義孝	（NTTインテリジェント企画開発㈱ 代表取締役社長）											
同	正能 淳	（㈱情報デザイン研究所 代表取締役社長）											
同	田子 みどり	（㈱コスモピア 代表取締役社長）											
同	こもだ たかこ	（㈱エス・エス・ジー 代表取締役社長）											

【研究部会】

研究部会	人間力研究部会
研究部会長	青沼 三郎（株式会社サタコ 代表取締役社長）
研究部会の性質	勉強型

1. 活動目的

- (1) 仕事に意欲のある経営者及び予備軍が集い時代の波を読みイノベーション能力を高める。
- (2) NBC会員増強の為に、新規企業の体験参加者に強く呼びかけ、継続の力を持って、既・未会員枠を超え経営者としての人間力を確認する。
- (3) 部会終了後の懇親会を重視・会員間の積極的交流の本意を考慮し、明日の事業に役立たせる。

《人間力研究部会》

人と人の中には、聴く・話す・見る・触れる・考える、行動する、それらの力がバランスよく必要であるが、それらの強弱も固有の癖も、個性もその全てが人間性を表すものである。

2. 活動内容

- (1) 部会は月一回第4火曜日 18:00～ 基本的にNBC会議室で実施する。
- (2) 部会員の今日の悩み・疑問・問題点及び成果等をテーマにして談議する。
- (3) 部会員が今日、見て感じる『時代の波を読む』をテーマにして談議する。
- (4) 部会員・体験参加者は、研究テーマを創り積極的に参加する。
- (5) 二次会を通じ部会員・体験参加者相互の参加の本意を考慮し「コミュニケーション」の充実を計り、参加者全員の活性化を促す。

3. 運営組織（副委員長等）

（以下、平成21年度 実行メンバー）

部会長 : 青沼三郎 特別顧問 : レイコ・B・リター : 高山東明 : 八鍬 昭
副部会長 : 扇谷和栄 : 藤田昭輔 : 重茂 達
世話人 : 齊藤栄太郎 : 小杉博俊 : 濱崎研治
 : 奥寺邦俊 : 端山浩幸 : 田中 豊 : あらきかずこ
 : 木村早苗 : 若林和子 : 薬師寺康子 : 倉持恵子

記：実行メンバーは常に部会員・体験参加者が有意義な部会活動が出来るよう討議する。

【研究部会】

研究部会	成功確率を高めるための事業計画研究部会
研究部会長	小松 伸多佳 ((個人会員) 国際公認投資アナリスト)
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 事業の成功確率を少しでも高めるためには、「何」を事業化するかということ以上に、「どう」事業化していくかを綿密に計画する必要があると考えます。発起人がアナリスト、ベンチャーキャピタリスト 15 年の経験を通じて得たノウハウを開示し、共に議論する中から、事業計画立案に必要な見識、理論を修め、天才経営者でなく秀才経営者となるべき道を探求します。	
2. 活動内容 ・対象は大学生及び社会人、経営者の会員の方々など広く参加をお願いします。 ・カリキュラムとして、以下の内容を計画しています。: ビジネスモデルを中核に、証券市場 理論・企業金融理論・企業戦略論などのトピックを具体的なケーススタディーを交えて概観します。具体的なトピックとしては、公開会社の財務分析を通じた企業戦略・ビジネスモデル論考、あなたの会社が公開した時の株価の算定法、ストックオプションの使い方、投資意思決定の仕方、株式市場の仕組み、敵対的買収が是認される理由等々の内容を盛り込みます。 ・座学と討論を中心に、年間 15~20 回くらいの開催を計画しています。 ・一般的な MBA 講座の内容を含みながらも、極めて実践的な論点を中心に構成するつもりです。	
3. スケジュール (予定) 原則第 2、第 4 月曜	

研究部会	人事制度研究部会
研究部会長	佐藤 純 (青山人事コンサルティング(株) 代表取締役)
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 優良企業の人事制度の事例、最新の人事制度のノウハウ、ベンチャー企業に必要な労務管理、労働法の改正動向、人事業界の最新動向等を紹介することにより、ベンチャー企業育成に必要な人事制度を考えることを目的とします。そして会員企業の人材育成と活用を考え、実現することを目的とします。	
2. 活動内容 活動は毎月 1 回の定期的な勉強会を実施します。具体的に検討しているテーマは (1) ベンチャー企業に必要な労務管理 ①適正な昇給額の判断方法 ②労働保険の申告 ③ワークシェアのやり方 (2) 最新の人事制度ノウハウ ①行動基準の評価制度とは ②適正な賃上げ率の判断方法とは ③アクションプランと目標管理制度の成功事例 (3) 労働法の改定動向 ①残業時間管理 (労働時間管理) と労働基準監督対応のノウハウ ②裁判員制度への対応 (4) 人事業界の最新動向 ①成功する成果主義人事制度と失敗する成果主義人事制度 ②初任給の上昇傾向と新入社員の定着施策方法について	

【研究部会】

研究部会	環境経営・環境ビジネス研究部会
研究部会長	岩下 一智 (株)ピー・ティー・ランド 代表取締役)
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 ・地球環境問題の緊急性を理解し、持続可能な社会を構築するために、また、そういうパラダイムが変化している状況を自社の持続性につなげていくために、利益を生み出す経営と、環境にやさしい経営を両立する方法の研究を行い、会員企業で、ともに実践していくことを目的とする。	
2. 活動内容 研究・・・環境経営の先進事例、H21 年度政府環境関連予算と助成金、環境関連のビジネスチャンス(商品とニーズ)、環境価値の付け方、活動報告とPRの手法、各種環境法規のさわり。各種環境運動とその活用度の評価など 実践・・・講演会とワークの開催と実践、先進環境経営企業への視察、各社での取り組みの立案と実践、NBCとしての取り組みの立案と参加への呼びかけ、取り組みのPR活動など 報告・・・研究部会活動による情報や事例は会員間においてシェアできるように、また、将来の取りまとめのために記録し、公表していく。	
3. スケジュール (予定) 年間 8 回程度の開催を予定しております	
4. 運営組織 (副委員長等) 副部会長 こもだ たかこ (株)エス・エス・ジー 代表取締役社長) 奥田 信哉 (株)バイキューブシー 取締役東京事業所 所長)	

研究部会	21世紀のビジネスライフを支えるヘルスケア研究部会
研究部会長	こもだ たかこ ((株)エス・エス・ジー 代表取締役社長)
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 健康への関心が高まり、健康に関するビジネスが多様化、活発化している時代背景を受け 20 年度に立ち上げた部会。自身や家族、社員の健康を守ると共に、会員企業の健康保険福利厚生団体への取り組み等の研究を進め、安心して働ける社会の実現を目指します。 また、会員企業が広く健康に関わるビジネスに参入する機会の創出を図ります。	
2. 活動内容 (1) 会員企業のヘルスケアビジネスに関する情報提供。 (2) 中小企業における社員の健康維持のための、福利厚生、健康保険等の研究。 (3) 先端的医療など健康に関わる情報を、専門家、専門研究機関等から得る。 (4) ヘルスケアに関する会員企業間の連携、或いはヘルスケア事業への取り組みの推進。 (5) ヘルスケアビジネスに関連する企業の、新会員の獲得。	
3. スケジュール (予定) 毎月第4木曜日に開催 (8月、1月、3月は休み)	
4. 運営組織 (副委員長等) 副部会長 木地本 朋奈 (株)トリリオン 代表取締役社長) 黒部 得善 (株)リーガル・リテラシー 代表取締役)	

【研究部会】

研究部会	伝統ビジネス研究部会
研究部会長	高田容冶（㈱ナバ 代表取締役社長）
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 国内外を問わず、各地域の歴史と伝統をベースに独自の技やノウハウを継承する職人およびスモールビジネスがその価値を正当に認められ、健全にビジネスを展開するための支援活動を行う。これにより、「経済効率至上主義の大企業主導型社会」に対する「人間の尊厳至上主義のスモールビジネス主導型社会」、「自己完結型ビジネス」に対する「相利共生型ビジネス」、「競争」に対する「共創」の価値観を定着させ、国際社会において職人およびユニークなスモールビジネスが名誉ある地位を保全できる環境構築の一助となることを目的とする。	
2. 活動内容 平成20年度に新設した「伝統ビジネス国際化推進研究部会」を発展的に継承し、単に国際化に限定せず、伝統ビジネスが継続的に発展するために必要な活動（市場開拓、パートナー発掘、資金調達など）をTPOと目的に応じてNBCの他の委員会や研究部会とも連携して行う。 具体的には： ① 既存のブログやMLを活用したニーズ・シーズの発掘と情報共有および意見交換（随時） ② 会員から提示された各テーマに応じた研究会、勉強会の開催（隔月で年6回程度予定） ③ 伝統ビジネスの正しい理解を目的とした現地視察（半年に1回、年2回予定） ④ 上記①～③をベースとした伝統ビジネス発展のための新しいビジネスモデル（事例発表を含む）や行政に対する提言を織り込んだ活動成果報告（年度終了時に提出）を行うこととする。	

研究部会	経営品質実践研究会
研究部会長	石橋 正利（㈱総合教育研究所 代表取締役）
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 (1) 先進各国で経営の羅針盤となっている「経営品質アセスメント基準書」理解する。 (2) 4つの視点（顧客本位・独自能力・社員重視・社会との調和）から、経営革新テーマを全社員が共有し、自発的にマネジメント・サイクルを回せるノウハウを習得する。 (3) NBC会員メンバー同士が経営革新を実践することで、学びあう学習する組織を体験でき、経営トップとしてのリーダーシップを磨き合う。 (4) NBC会員の中から、お客様から喜ばれ、社員が仕事に誇りが持て、社会から尊敬される“卓越したモデル企業”を輩出する場とする。	
2. 活動内容 (1) 年度目標：「経営革新」を日常業務を通じて実践できる企業文化に醸成する！ スローガン＜世の中に必要な存在となる＞ (2) 部会テーマ：今年度の「自社の経営革新テーマ」と「自身の人生革新テーマ」を掲げ、自ら実践し、成果を喜び合う。 (3) 部会進め方： ①経営品質賞カテゴリー解釈 ②経営品質賞受賞企業の事例研究 ③気付きの情報交換 ④企業見学会 他	
3. スケジュール（予定） 開催日：毎月1回・原則として第3月曜日・PM6：30～8：30	

【研究部会】

研究部会	労働問題研究部会
研究部会長	岩尾 啓一（㈱キャリア工学ラボ、代表取締役）
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 急速に雇用環境が悪化する中、長期的な視点から、様々な雇用形態を含むより良い雇用関係や住み易い社会を実現するための方策を考え、改善の道を探る。	
2. 活動内容 有識者を交えてのディスカッションや講義をなどの勉強会を経て、問題提起を行う。	

研究部会	企業におけるワークライフバランス研究部会
研究部会長	高橋 ゆき（㈱ベアーズ 専務取締役）
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 経営者自身が、ワークライフバランスを体で感じ、促進する企画を立案する。 2008年度の活動から女性委員会の指導のもと、協同で成果物を見出していく。	
2. 活動内容 <ul style="list-style-type: none">定期的な勉強会の実施（外部講師）体験型勉強会（農業体験、ボランティア活動など）	

【研究部会】

研究部会	知的財産研究部会
研究部会長	永瀬 俊彦（事業創造キャピタル（株） 専務取締役）
研究部会の性質	勉強型
1. 活動目的 日本経済の回復・発展にとって中小企業のベンチャーや新規事業の成長が不可欠であり、そのために資金と人材に制限のある中小企業が知恵を武器に自社にしかできないことを無形財産（インタンジブルアセット）として形にしていくことが必要となる。本研究部会によって、独創的な技術やアイデアを保護し、権利化するノウハウをNBCの会員に提供・活用してもらうことを目的とする。	
2. 活動内容 下記のテーマについてのノウハウの研究 （1）発明の権利化、特許・実用新案・商標・意匠の合理的な取得方法 （2）発明や開発の立案、他社権利への侵害回避、発明の特許性評価などの方法 （3）広い範囲での権利取得のための文章化、出願手続きの方法 （4）権利侵害に対する警告の方法および警告を受けたときの対応策 （5）不正競争防止法、著作権、契約関係などに関わる知識 以上について、定期的な勉強会の開催および会員に対する情報提供を行うとともに、会員の相談窓口として活動する。	